

植 物 採 集 ノ ー ト

渡 辺 定 路



◀ ダンチク



エチゴトラノオ ▶

ダンチク

Arundo donax Linn. (イネ科)

勝山市小舟渡 1975.8/3 (No.13338), 10/19 (No.13367)

この植物は松村敬二氏が最初に注目されたもので、ヨシに非常に似ているが、稈は太く中は竹のように中空になっていて、地下茎は太く地下0.5~1mの砂地の所をはっている。本種は普通海岸の砂丘地に生育しているのである。県

内の砂丘地に見られないのにどうして小舟渡に見られるのか不思議である。
写真は1975年10/19日に撮影したもの。

コップモエギスゲ

Carex tristachya Thunb. var.

pocilliformis (Boott) Kükenth. (カヤツリグサ科)

大飯郡高浜町音悔 1970.5/29 (No.12824)

母種のモエギスゲは昭和8年の目録には吉田郡岡保・三国町雄島の2ヶ所が、博物館には大野市六呂師・大飯郡大島半島の標本があります。本変種は、雄穂は細く、雄花の鱗片は辺縁が癒合してコップ形になっているので母種と区別される。

母種は越中・関東以西の本州・四国・九州・朝鮮・中国に分布、変種のコップモエギスゲは、静岡以西の本州・四国・九州・朝鮮・中国に分布し、母種のモエギスゲより南方に分布している。若狭が北限に近いと考えられる。

エチゴトラノオ

Veronica kiusiana Furumi;

var. *maritima* (Nakai) Yamazaki (ゴマノハグサ科)

丹生郡越前町(四ヶ浦) 1975.9/22 (No.13400,13401)

この植物は昭和8年の目録にエヅルリトラノオ (*Veronica Grayi Miyabe et Kudo*) 丹生郡四ヶ浦異型と記載されているものである。この植物が越前町の海岸にある話は聞いていましたが、なかなか実物にはお目にかかれなかったが、昭和48年6月に偶然採集することができた。しかし花期ではないので花期に是非と思い50年の9月に、話を聞いてから十数年ぶりに完全な標本を作ることができた。写真からわかるように個体数は相当ある。本種は北陸の海岸に自生し、越前町を南西限とする裏日本要素の1種である。

キラソウとニシキゴロモ

Ajuga bastarda Makino (シソ科)

三方郡三方町気山 1973.8/23 (No.12580)

キラソウとニシキゴロモの雑種と考えられるもの。

ノコンシロヨメナ

(シロヨメナとノコンギクの雑種)

Aster ageratoides Turcz. subsp. *ovatus*

(Fr. et Sav.) Kitam. × subsp. *leiophyllus* (Fr. et Sav.) Kitam.

福井市大丹生 1972.10/1 (No.12049)

シロヨメナに似ているが、葉も大きく、毛も粗い感じである。

武生高等学校教諭